



## <CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年11月20日

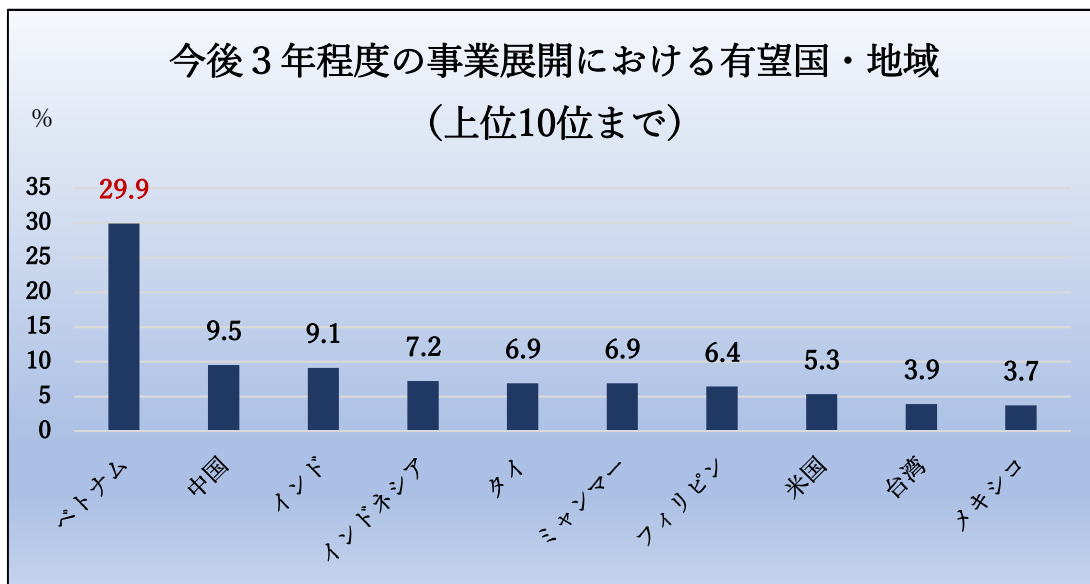
### 海外進出の有望国はベトナム

### 6年連続で1位

日本の中小企業の海外進出の有望国・地域として、ベトナムが6年連続で1位となった。日本政策金融公庫による取引先企業に対する調査で明らかになった。

今後3年程度の事業展開における有望国・地域として、2位以下を大きく離して約30%がベトナムを選んでいる。ベトナムは29.5→29.9%と前年比上昇、中国(11.9→9.5%)、インド(9.5→9.1%)は数字を落としている。

ベトナムが選ばれた理由としては「労働力が豊富」(61.0%)、「現地市場の将来性が高い」(43.7%)、「優秀な人材の確保が可能」(31.0%)、「既存取引先がすでに進出」(25.4%)、「政治・社会情勢が安定している」(23.0%)が挙げられている。



(出所：日本政策金融公庫のデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成)

以上